公開実用 昭和57一145296 Jpu

Pd. 11.09.1982



願(18)

昭和56年 5月 10日



許戸長官殿

1. 考案の名称

東京三洋電機株式会社内

益(外1名) 氏

3. 実用新案登録出願人

守口市京阪本通2丁目18番地 住 所

(188) 三洋電機株式会社 名 称

> 鮁 井 植 代表者

群馬県邑楽郡大泉町大字坂田180番地 1E 所

(373) 東京三洋電機株式会社 名 称 代表者

少. 化 人 理

守口市京阪本通2丁目18番地 作 所

三洋電機株式会社内

弁理士 (8550) 佐 氏 名

連絡先:電話(東京)835-1111 特許セ 33638 14529

56 033638



920

5. 添付書類の目録

(1)	明	細	書	1	通
/(2)	図		面	1	通
, (3)	顖	書 副任	本	1	通
(4)	委	任	状	1	通

6. 前記以外の考案者

住 所 群馬県邑楽郡大泉町大字坂田180番地 トクキョクサンコーデン キ 東京三洋電機株式会社内



氏名 茶 囊 竖

927

145296

- 1, 考案の名称 組込型誘導加熱調理器
- 2, 実用新米登録請求の範囲
- 1、流し台、テーブル等に組込まれて使用される時導加熱調理器において、調理器上面付近に設けられ歌を業用する第1級気口、調理器本体ケースに設けられ第1級気口より、調理器本体ケースに設けられ第1級気口を適けられたの侵入を適断するしきり部材を有力とである。 第2級気口、調理器内に設けられ上記第1、第2、数気口を通して外気を器内に設けられ上記第1、第2、数気口を通して外気を器内に設けられたが分を集める。上記第1級気口を出るを器内へはあり使入した水分を集めるを器を備えてなる組込型誘導加熱調理器。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、流し台或はテーブル等に組み込まれて使用される誘導加熱調理器に関し、器内の冷却 複構および吹きとぼれの処理に改良を施したもの である。

派し台等に組み込まれて使用されるこの推調理 器にあつては、構造上調理器上面のみしか数気口

921

145296



公開実用 昭和57-145296

2

を設けることができず、かかる場合、この吸気口から調理調より吹きこぼれた水分がともに使入し、 偏電等の事故原因となる。

本考案は、かかる欠点を防止するもので以下図 に基いて一実施例を説明する。

第1図にかいて、(1)は近し台(2)の一部に設けられた調理器組込部で、近辺に操作部(3)が設けられている。(4)はこの組込部(1)内に収納される誘導加熱調理器で、(5)は調理網が製造される天板、(6)は、組込部(1)端線に接し、調理器(4)を適切な位置に支持する係止部、(7)(7)…は、係止部(6)と天板(5)間の側面に複数形成された第1 吸気口である。

第2図は、耐理器(4)を流し台(2) に組込んだ状態を示し、(8) は誘導加熱コイル、(9) は電源回路、インパータ回路等を構成する電気回路部、Wは冷却用ファンであり、これらは、本体ケース凹内に収納されている。U2 以は流し台(2) に設けられた組込枠で、2 車構造となつてかり、本体ケース凹底面は、この一方の組込枠以に接して固定される。IQ は第1 数気口(7) の内側に設けられた第2 吸気口で、

しきり部材的個によつて、外気の分流入可能とされ、水分の器内への侵入は阻止されている。切は排水口で、第1吸気口(7)より侵入した吹きこぼれ等水分を、器外へ吹出させる。これら群水口切に通つて出た水分は排水パイプ個を経て水受容器個内に集められる。

一方第2 数気口間より調理器内で施入した外気は、酵導加熱コイル間、電気回路部(9)を冷却した後、ファン皿近傍の本体ケース間かよびこれに接する枠間に設けられた排気口調測を通つて枠間間間の空間を進つて外部へ排気される。

かかる構造にすれば、第1 数気口を通して侵入してきた致きとばれ等の水分は、第2 数気口で揚 内への侵入を進られて外 節へ 排出されるから、 場 門今の事政 光生は防止される。また第1 吸気 できて が りして 水分が 数収 され、 これらは 水 受 容 器 に 耐 か られるから 多少の 吹き こぼれが生 じても 天 板 動 近辺が 汚れることは なく、 反 時間 情 な を 後 つ ことが できる。

公開実用 昭和57-145296

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案一実施例針視図、第2図は、同 例斯面図である。

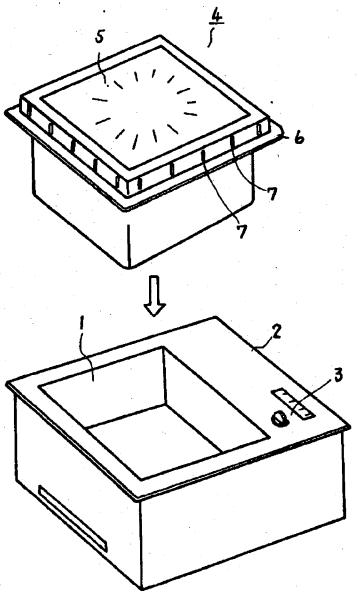
(1) …調理器組込那、(2) … 流し台、(4) … 誘導加熱 調理器、(5) … 天板、山 … ファン、山 … 本体ケース、 (12 (13) …組込粋、(7) … 第 1 級気口、山 … 第 2 吸気口、 (15) 160 … しきり郵材、山 … 水受容器。



出職人 三洋電機株式会社外1名代理人 弁理士佐 野 静 夫

! • '

第1図



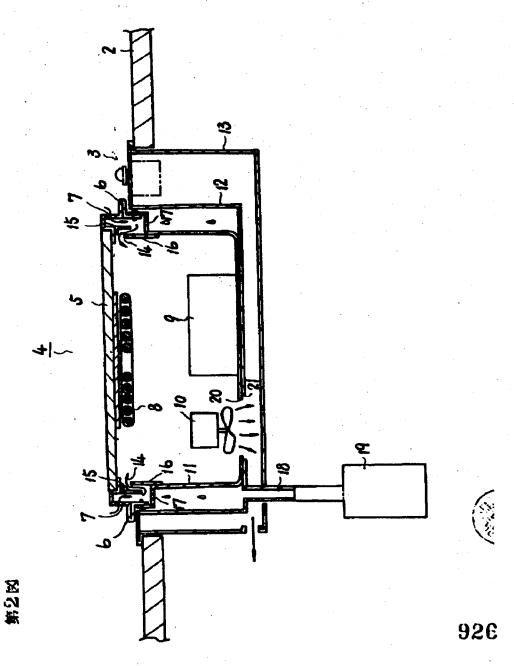
145296 1/2

925

出願人 三洋 電機 株式 会社 代理人 弁理士 佐 野 前

.

公開実用 昭和57-145296



140296 3

出願人 三洋 電機 株式 会社代理人 弁理士 佐 野 静

BNSDOCID: <JP____357145296U_I_